



“Pure CS” Project Photo Letter



No. 2, 25. June, 2018

雨期が始まり、本格的稲作シーズンが到来しました。対象地域でも苗代作りが始まっています。プロジェクトではベースライン調査をつづじて課題を明らかにし、PIC・JCCの協議を踏まえプロジェクトの活動方針について関係者と共有を図ってきました。現場活動がいよいよ本格スタートです！対象地域は広大ですが、チーム一丸となって取り組んでいきます。



3月15日、主要C/Pを中心に現場の実施計画を協議する第1回PIC（プロジェクト実施委員会）が首都ネピドーにて開催されました。
実施方針、ベースライン調査結果等を発表し、質疑応答・意見交換が行われました。

5月23日、第1回JCC（合同調整委員会）が首都ネピドー農業灌漑省会議室にて開催され、ワークプラン、ベースライン調査報告、PDM修正案について協議が行われました。協議結果はミニッツに取り纏められ署名されました。

6月5-8日、種子生産・圃場審査にかかる普及員研修をエーヤワディー地域（パテイン、ヒンタダ）にて実施しました。両地域で110名以上のDOA普及員・種子農場職員を対象に座学・実習を行いました。



【種子生産・圃場審査にかかる普及員研修】 暑い日にも関わらず、参加者は講義・実習に真剣に取り組み、講師に対して活発な質問を浴びせてました。講師は先行プロジェクトで育ったC/Pから選抜。本年度の同研修は、パテイン、ヒンタダ、シュエポーの3か所を拠点として4回（シュエポーは5回）シリーズで行われ、33タウンシップから計140名の参加者が集まり継続的に参加します。



3月～5月にかけては乾期作の種子検査のピーク。生産物審査を実施するラボを訪問し、検査状況をモニターしました。

種子選別機（3台）をエーヤワディー地域3郡に導入すべくDOAとサイト選定・設置にかかる調整を行っています（写真は先行技プロで導入した同タイプ選別機）

6月21～22日、パテイン郡及びミャウンミャ郡にて官民連携の基礎固めとして農業局、精米業者、仲買、CS生産農家、コメ生産農家等を集めてステークホルダー会議を開催しました。

これから活動本番。今後のフォトレターをお楽しみに！（近日中にHPを開設します。）（編集委）